

# 第4回国労フクシマ交流学習会

# 国労水戸

国労水戸地方本部  
水戸市中央1-1-11  
ENYビル2F  
029-221-4008  
発行責任者 塚原良雄  
編集責任者 坂下 司

## 風化させない運動を

11月26日～27日、郡山市内において、国労フクシマ現地視察、交流学習会を開催した。全国から集まり、水戸地本から40名が参加し交流を行った。

一日目は浪江駅や周辺の現地視察、学習交流を行った。

二日目は司会に赤沼書記長の開会挨拶、福島

支部猪狩委員長より福島の実状を知り風化させない取り組みをと挨拶があった。

主催者、坂口委員長から福島の実状を知り風化させない取り組みをと挨拶があった。

### つなげよう 技術わざと

### 魂（タマシ）と

### 運動を

福島県フォオラムの半澤さんより、賠償金の打切りを継続にと挨拶があった。

高校生平和大使の加藤大貴さん、作山龍馬さんより、スイスでの報告で、どの国も共に平和を願うが、日本の政府は世界と異なる方向に行っている。

狩野いわき市議より原発事故から5年8ヶ月、原発労働者の実態と権利の闘いとして、講演があった。事故から5年が経過し、福島の実状として福島県教職員の子副委員長より講

## 教育現場から

福島産の野菜を購入する人、しない人の二極化があり風評被害が現実にある。福島産の米を検査して給食に出

すが、親から不安視の声もある。次々に避難解除されるが、同じ福

島でも対応に場所によって温度差を感じる。子供の中には何度も転校をしている。学習の障害になっている。



瓶子 高裕さん



狩野 光昭さん

演を受けた。

原発立地の関係する6地本から現状と取り組みについて報告を受けた。

まとめで唐澤書記長よりエネルギー政策転換を。日本は世界からかけ離れている。高校生大使より。微力ではあるが無効では無いの言葉に共感した。

日本の政府は再稼働に動いている。大衆闘争で問題の解決に歯止めをかけなければならぬ。

東本部では福島と東京を結ぶキャラバン行動の取り組みをする。

仙台地本小檜山福島県支部長の閉会挨拶、坂口委員長の団結がんばろうで閉会した。

## 高校生平和大使

